

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 湖東カレッジ
設置者名	学校法人 湖東学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	IT 経済学科システムエンジニアコース	夜・通信	1500	160	
	IT 経済学科ビジネス経理コース	夜・通信	1380	160	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.coto.ac.jp/coto/information.html>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 湖東カレッジ
設置者名	学校法人 湖東学園

## 1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.coto.ac.jp/coto/information.html>

## 2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	熊本ソフトウェア（株） 代表取締役	2022.4.1～ 2024.3.31	運営体制の チェック
非常勤	F P 経営事務所（株） 代表取締役	2022.4.1～ 2024.3.31	財務管理
非常勤	（株）三祐 代表取締役	2022.4.1～ 2024.3.31	労務管理
非常勤	（株）中川組 代表取締役	2022.4.1～ 2024.3.31	学内コンプライ アンス
(備考)			

## 『提出不要』

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

### 1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

### 2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校湖東カレッジ
設置者名	学校法人湖東学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p><b>【授業計画書(シラバス)の作成過程】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年実施しているカリキュラム編成会議において、次年度以降のカリキュラム等の内容を検討し、科目等の見直しを行っている。</li> <li>・見直した内容を元に、各学科において科目の担当教員と次年度の授業内容の打合せ行って、シラバスの作成・提出を依頼する。</li> <li>・提出されたシラバスの記載内容については、不備がないか確認し保管するとともに学校ホームページにて公表している。</li> </ul> <p><b>【授業計画書の作成・公表時期】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成時期は、2月末日まで。公開時期は4月としている。</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://www.coto.ac.jp/coto/information.html">https://www.coto.ac.jp/coto/information.html</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業科目において、出席状況、授業態度、レポート・論文の提出状況、定期試験の結果等を基準にして担当教員が総合的に判断した成績評価を行っている。</li> <li>・成績の評価は、S(100点～90点) A(89点～80点)、B(79点～70点)、C(69点～60点)、D(59点以下)とし、S、A、B、Cを合格としている。</li> <li>・年度末には進級・卒業判定会議を開き、学生一人一人の年間を通じた学修状況を詳細に確認して単位・履修認定を行っている。</li> </ul>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度より、学生の成績を示す客観的な指標としてGPAを用いている。具体的な算出方法は、</li> </ul> <p>GPA = 各科目の(単位数×評価ポイント)の合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)  (評価ポイント S:4ポイント、A:3ポイント B:2ポイント C:1ポイント D:0ポイント)とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GPAは半期ごとに求め、学生自身の学修状況を理解するために役立てる。</li> </ul>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	<a href="https://www.coto.ac.jp/coto/information.html">https://www.coto.ac.jp/coto/information.html</a>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業の認定に関しては、卒業要件単位数(62単位)を満たすと同時に専修学校設置基準で定める必要授業時間の年間800単位時間および専門士の称号の要件1700単位時間を満たす必要があることを学則に明記して学生に周知すると共に学校ホームページに公開している。</li> <li>・年度末において、各学生における科目の成績評価及び取得単位数をもとに卒業判定会議を開き、学生一人一人の学修状況を確認して卒業認定を行なっている。</li> </ul>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	<a href="https://www.coto.ac.jp/coto/information.html">https://www.coto.ac.jp/coto/information.html</a>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 湖東カレッジ
設置者名	学校法人 湖東学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.coto.ac.jp/coto/information.html">https://www.coto.ac.jp/coto/information.html</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.coto.ac.jp/coto/information.html">https://www.coto.ac.jp/coto/information.html</a>
財産目録	<a href="https://www.coto.ac.jp/coto/information.html">https://www.coto.ac.jp/coto/information.html</a>
事業報告書	<a href="https://www.coto.ac.jp/coto/information.html">https://www.coto.ac.jp/coto/information.html</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.coto.ac.jp/coto/information.html">https://www.coto.ac.jp/coto/information.html</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	IT 経済学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700単位時間	780 単 位時間	1140 単 位時間	0 単位 時間	0 単位 時間	0 単位 時間
			1920 単位時間				
生徒総定員 数		生徒実員	うち留学生 数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		45人	3人	4人	4人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 新年度に実施する全科目のカリキュラム及びシラバスを年度開始前に作成し、それに基づいて講義または演習形式で少なくとも15週以上の授業を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 期末に定期試験を実施し、試験の得点、出席率、授業態度等を基に100点で点数化し各期毎の成績評価としている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 前後期の成績評価及び取得単位数を基に、年度末に卒業・進級判定会議を開き学生一人一人の学修状況を確認・評価して卒業・進級認定をしている。
学修支援等
（概要） 講義、演習を通じ知識・技能を習得させ確認テストや課題提出を行い、理解が足りない場合は個別の補習授業等を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29人 (100%)	3人 ( 10%)	23人 ( 79%)	3人 ( 10%)
（主な就職、業界等） I T 関連業界、宿泊・観光業、音楽関連業等。			
（就職指導内容） 就職活動支援の科目を設けて業界・企業の研究、カウンセリング等を行っている。またインターン実習制度を導入し現場体験による学修を支援している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 基本情報技術者資格、簿記検定、オフィス検定、ビジネス文書検定、色彩検定等。			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
56 人	11 人	19%
（中途退学の主な理由） 進路変更、就職など		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・普段から学生の・健康状態・出席状況に目を配り、欠席した学生にはすぐに連絡を取って欠席の理由や心の状態を確認し勉強意識を保つよう対応している。 ・アパート等で一人暮らしをしている学生には、定期的に訪問して生活の状況に問題がないことを確認している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
IT 経済学科	150,000 円	600,000 円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.coto.ac.jp/coto/information.html">https://www.coto.ac.jp/coto/information.html</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) ・本校の教育目標達成のため、教育業界関係者・卒業生・保護者等、学校関係者から評議委員会(定員4名)を設置し「学校関係者評価」を実施する。 ・委員会において、学校運営、学修成果、学生支援、教育環境、学生募集、財務状況、法令順守、社会貢献、国際交流等の項目について外部目線からの評価を行う。 ・評価結果は、外部に公開するとともに内部においても周知・議論し、結果を現場にフィードバックする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
熊本市市議会	令和4年4月1日 ～令和6年3月31日	企業等委員
県立高等学校	令和4年4月1日 ～令和6年3月31日	卒業生委員
法律事務所	令和4年4月1日 ～令和6年3月31日	企業等委員
IT関連企業	令和4年4月1日 ～令和6年3月31日	卒業生委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.coto.ac.jp/coto/information.html">https://www.coto.ac.jp/coto/information.html</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.coto.ac.jp/coto/information.html">https://www.coto.ac.jp/coto/information.html</a>
--